

常設展示室から探し出せ！！



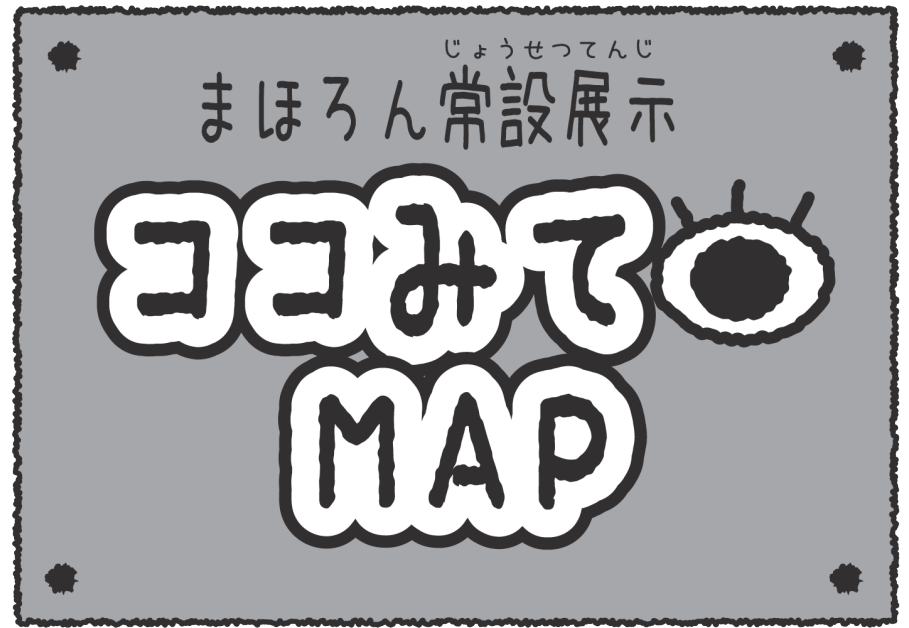
ヒント：展示室入口の森の中の足元の小川のあたりのどこかにいるよ。



ヒント：縄文時代のおうちのなかのどこかにいるよ。



ヒント：「遺跡を掘る」コーナーには小さな人形（ジオラマ）がたくさんあるよ。その中の公園の中のどこかにいるよ。



まほろん学芸員が
オススメする展示スポット
を「ココみて」ポイント
として、紹介します。



この穴に空気を
ふきこんでならす。

土笛の側面に、
持ち手らしきも
のが、付いていた
痕跡があります。
当時はこんなかた
ちだったのかなあ？



4 なみえまちたごたいら つちぶえ
浪江町田子平遺跡出土の土笛
は、出土した他の土笛に比べると、とても
とても小さいです。土笛上部の穴に空気を吹き
込んで音を出します。おまつりの時に使ったの
かな？それとも、動物を呼び寄せるために吹い
ていたのかな？そんな想像が膨らみます。

3 こおりやましとくさだ
郡山市徳定A遺跡から
出土した、顔がついた弥生土器は、
骨壺として使われていたと考えられます。顔がつ
いた弥生土器の県内の出土例は、この土器を含め
てわずか6点です。目元と口元の文様は、お化
粧をあらわしていると考えられています。



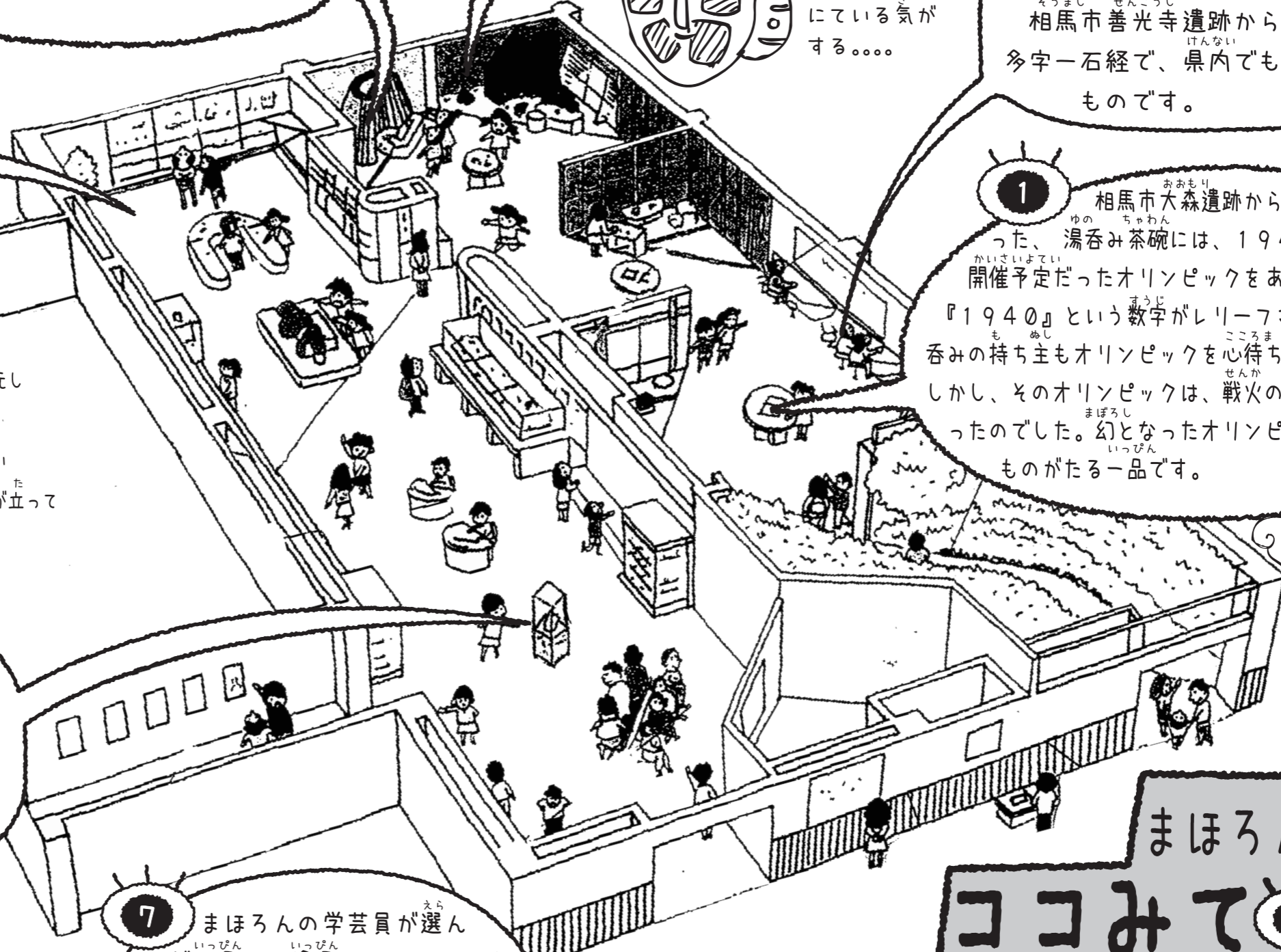
ウ○トラの母に、
にている気が
する。。。。

2 いし きょう か
石にお経を書いたも
のを礫石経といいます。鎮魂や、功
徳のために埋納していたと考えられていま
す。礫石経には、一つの石に一つの文字を書い
た一字一石経や、一つの石にたくさんの文字を
かいた多字一石経があります。
相馬市善光寺遺跡から出土した礫石経は、
多字一石経で、県内でも出土例の少ない
ものです。

5 こぶんじだい うま かぎ ゆうりやく
古墳時代、馬は限られた有力
者しか所有できない、とても貴重なもの
でした。白河市茨内古墳群から出土した馬
具は、葬られた人が所有していたと考えられる
重要な資料です。
また、この馬具を復元したものを古墳時代
の馬の模型に装着しています。



馬の模型は、大阪府日下遺跡から
出土した古墳時代の馬の骨をもとに復元し
た古代馬をモデルにしているよ！
馬のはにわのたてがみは、立ってい
るものが多いので、当時はたてがみが立っ
ている馬が多かったのかもしれないね。



1 おおもり
相馬市大森遺跡から見つ
かった、湯呑み茶碗には、1940年に東京で
開催予定だったオリンピックをあらわす『五輪』と
『1940』という数字がレリーフされています。この湯
呑みの持ち主もオリンピックを心待ちにしていたのでしょ
う。しかし、そのオリンピックは、戦火の拡大で中止となっ
たのでした。幻となったオリンピックがあったことを
ものがたる一品です。



東京オリンピック
の開催を心待ちに
しながら、この
湯呑みでお茶をの
んでいたのかな。

6 ばんだいまち いなわしろまち
磐梯町と猪苗代町にまた
がる法正尻遺跡は、縄文時代中期
(今から約4500年前)の集落跡で、
出土品のうち、855点が国指定重要文
化財になっています。
2か月に1回、展示替えをして様々な
重要文化財をご紹介します。

7 まほろんの学芸員が選ん
だ一品...逸品...、イッピンを
3か月ごとに展示します。
担当の学芸員による
情熱的な解説文も必見です。

まほろん常設展示
まほろん学芸員がオススメする展示スポット
を「ココみて」ポイントとして、紹介します。

ココみてMAP